

# リニモテラス公益施設(仮称) 整備基本計画

<概要版>

長久手市

# リモテラス公益施設ってなに？

第5次長久手市総合計画では、平成30年を目標としたまちづくりの基本方針を示していますが、そのなかの主要プロジェクトの一つに「リモテラス構想」があります。

## リモテラス構想

(第5次長久手市総合計画の主要プロジェクト)

長久手古戦場駅前にまちの新たな顔として「リモテラス」を整備し  
住民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出します。



リモテラス公益施設は  
リモテラス構想をけん引するリーディング施設として  
本市の新たな交流拠点となるよう整備していきます。

特に、本市を特徴づける象徴的な要素として  
「大学連携」「観光交流」「多文化共生」「子育て支援」  
の4つのテーマが息づく公益施設をめざします。

大学連携

観光交流

多文化共生

子育て支援

リモテラス  
公益施設





## なぜ、4つのテーマなの？

長久手市都市計画マスタープランでは、「長久手市中央地区の中に位置する長久手古戦場駅周辺を本市の『シンボル・コア』（都市核）として位置づけ、新たな都市の顔となる拠点を形成する」ものとしており、それを受けた長久手市中央地区まちづくり基本構想のコンセプトにおいても「緑に溢れ、多様な交流による賑やかなまち」の創造をうたっています。

これらを推進するテーマとして、本市を特徴づける4つを抽出していますが、こうした活動がけん引役になり幅広い世代、分野の市民が交流することにより、新たな都市の顔が魅力的に形成されていくことを期待しています。

### 本市を特徴づける4つのテーマ

#### 1 大学連携

市内には4つの大学、また周辺にも多くの大学が立地しており、多くの大学生が市内に居住し生活圏内としているため、大学の持つ人材、知識、ノウハウ等で大学が社会に参与しやすいまち

#### 2 観光交流

優良な住宅街と里山や田園風景等の自然が共存し、新しさと歴史が混在する環境を活かした、他の市町村にはない長久手オリジナル観光が提案できるまち

#### 3 多文化共生

古戦場を介したベルギー王国ワテルロー市との姉妹都市提携や愛・地球博の開催地として国際化、多文化共生についての理解・支援に積極的なまち

#### 4 子育て支援

福祉の充実を大切にするまちであり、区画整理事業等による新しい住宅街の形成により、子育て世帯の流入も多く、子育て支援活動のネットワークに対してのニーズが高いまち



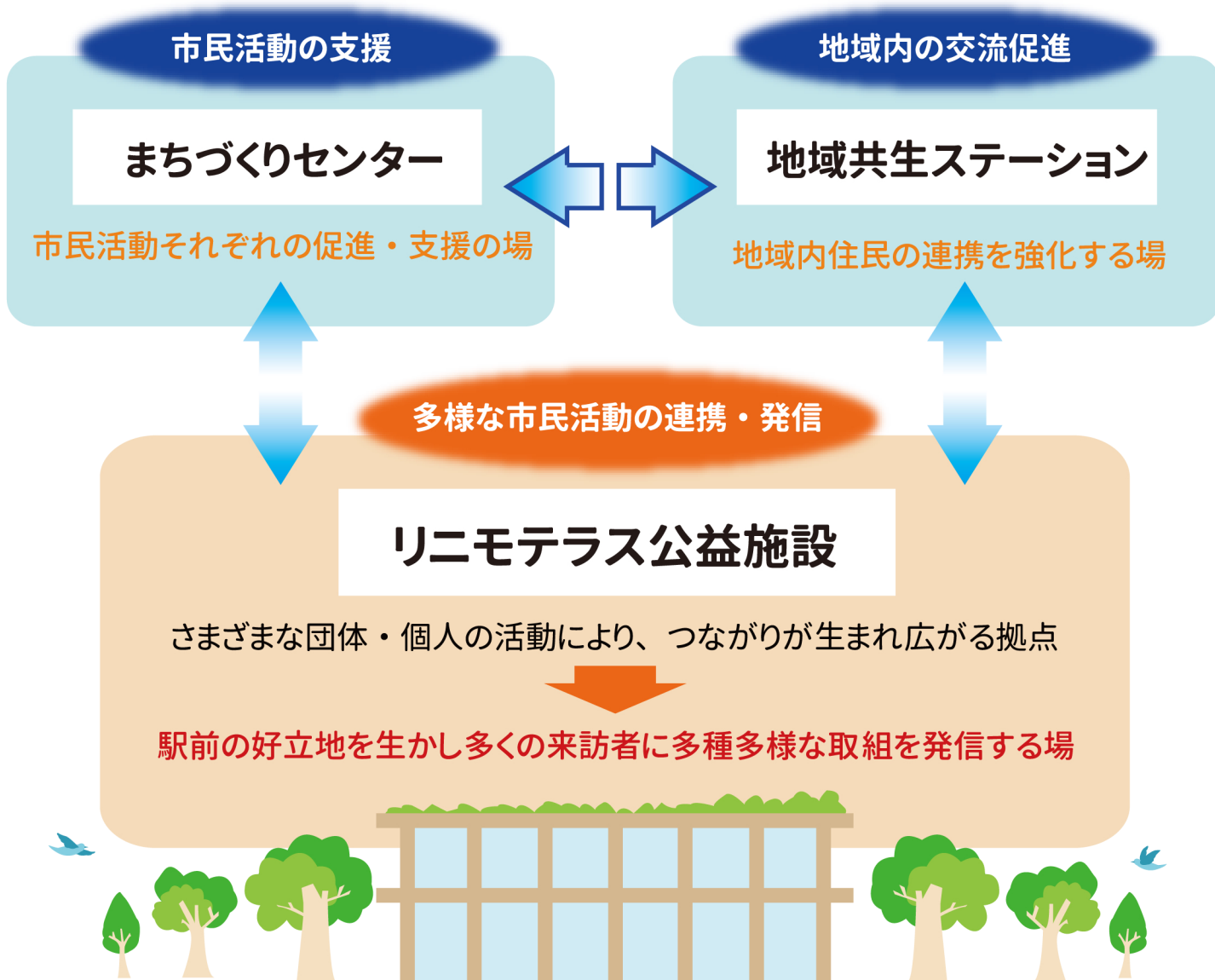
# 新たに誕生する施設としての位置づけ・役割は？

## リリモテラス公益施設の位置づけ

出会い、きっかけから生まれる新たなつながりによって、発信力のある多種多様な取組が生まれ、まちの新たな魅力を形成するにぎわいの場



4つのテーマに関連する市民団体が、活動拠点として利用している主な施設に「まちづくりセンター」と「地域共生ステーション」があります。リリモテラス公益施設は、長久手古戦場駅から大型商業施設、古戦場公園などへの動線上にある好立地に誕生するため、3施設の位置づけをうまくとらえ、各団体・市民活動がさらに活性化するための利用方法が求められます。



# より魅力的な場づくりに向けた施設の考え方とは？

## 施設コンセプト

### 新たなつながりをデザインする場

長久手らしさや若者たちの関心事などから抽出できるキーワードを核に「学生」「社会人」「主婦(夫)」「高齢者」「行政」などがそれぞれの枠に収まることなく世代を超えて新たなつながりを生み出す場づくりを目指します。

リニモテラス公益施設は、4つのテーマを軸にしながらも、その枠にとらわれず多様なテーマ・分野とのつながりのデザインが可能なプラットフォームとします。



### 大学連携

例えば  
大学がその枠を超えて活動するための拠点  
さらに大学生が自らの知的財産を活かし  
「地域」「高齢者」「子育て世代」などと  
積極的な連携活動を実施



### 観光交流

例えば  
長久手らしい観光スタイルをアピールする  
活動の促進  
「農」「食」などのテーマ型観光交流  
への官民の横断的参加

## リニモテラス 公益施設



### 各種団体 (文化・福祉等)

例えば  
国や文化の違いや、世代・地域を  
超えて集える事業の実施  
外国人主催のおもてなしイベントの開催

### 地域の力 (市民・団体等)

例えば  
子育て世代と高齢者が  
一緒に会話できる  
空間の創出  
「市民団体 × 行政」による連携事業

### 多文化共生

### 子育て支援

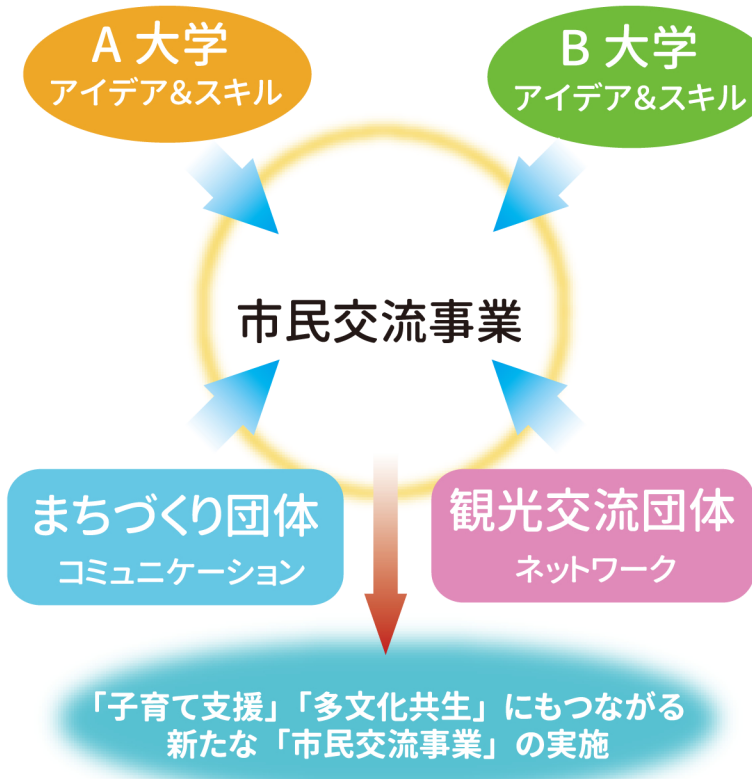


## 新たなつながりをデザインする場

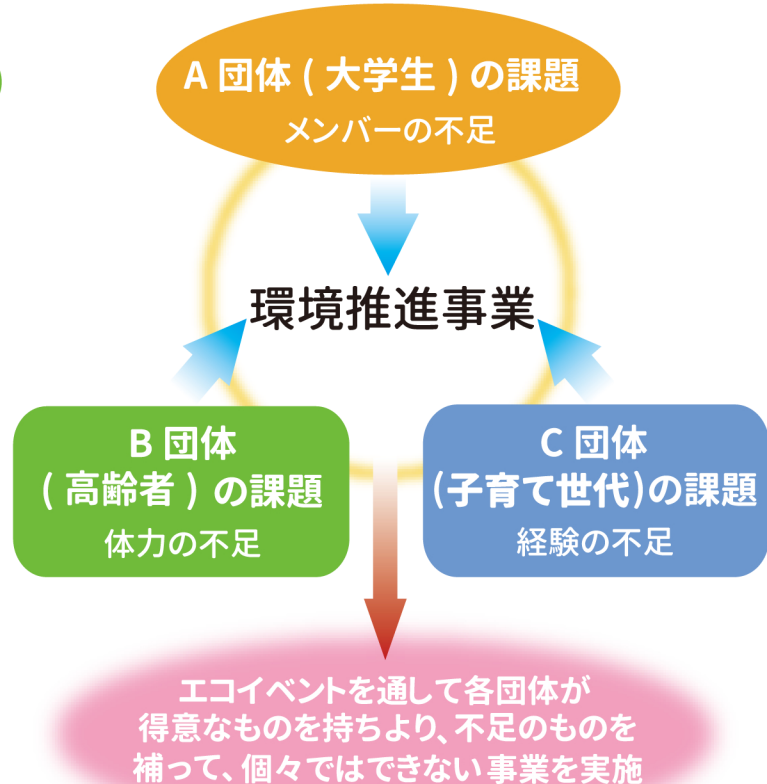
# 「新たなつながり」のデザインイメージとは？

リモテラス公益施設は、「大学連携」「観光交流」「多文化共生」「子育て支援」をはじめ、種々のテーマで活動する皆さんが、それぞれの枠に捉われることなく多様な連携を生み出し活用する場になることで真の価値を生むものとなります。

## イメージ 1



## イメージ 2



## イメージ 3



# 「新たなつながり」を生み出すためのしくみとは？

## 施設コンセプトを推進するための3つのしくみ

### しくみ1

「出会い」  
「つながり」を  
生み出すしくみ

多様な主体が関与する  
市民主体の管理運営手法の  
検討・構築

### しくみ2

つながり  
連携による  
「多彩な取組」  
を促すしくみ

施設コンセプトの発信につながる  
「リーディングプロジェクト」  
の検討

つながり・連携による化学変化を  
仕掛けるコーディネーター等の  
必要性

### しくみ3

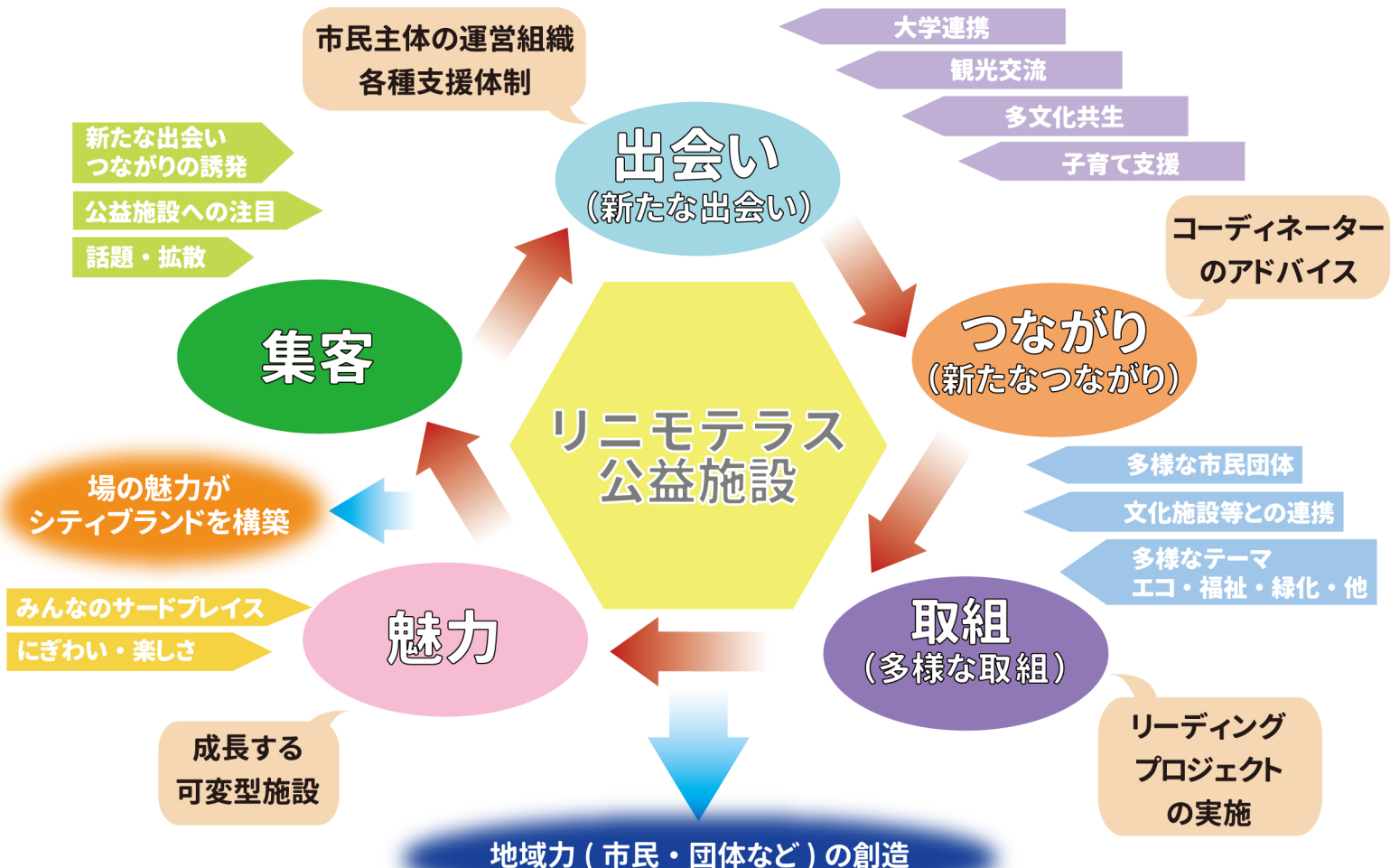
場における  
「つながりの魅力」  
を継続・成長  
させるしくみ

市民主体による公益事業を  
推進するための  
中間支援体制の確立

「場」の成長過程に  
リンクした施設の可変性の確保

## 3つのしくみを推進役とした「場」の成長構造

リリモテラス公益施設の活性化を促すループ構造イメージ





# 具体的な施設イメージを教えてください？

施設整備の基本方針は以下の通りですが、今後市民の皆さんのご意見などを取り入れながら基本設計を行います。

## 開放感

屋上緑化による  
くつろぎ空間の創出

外から中が見える  
施設づくり

屋外の2号公園との  
一体的な活用が  
できる構造

## 未完の場

フレキシブルな  
会場利用ができる  
空間づくり

成長する公益施設  
→利用欲求の  
変化への対応力

## 連携構造

施設と2号公園の  
連携活用の促進

商業施設の集客利用  
→デッキ等の動線確保

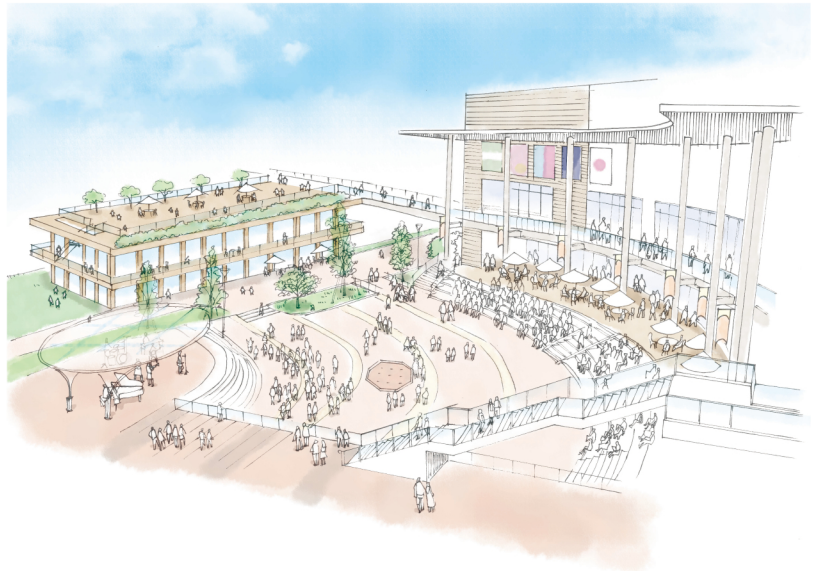
古戦場公園等との  
景観配慮

## 環境への配慮

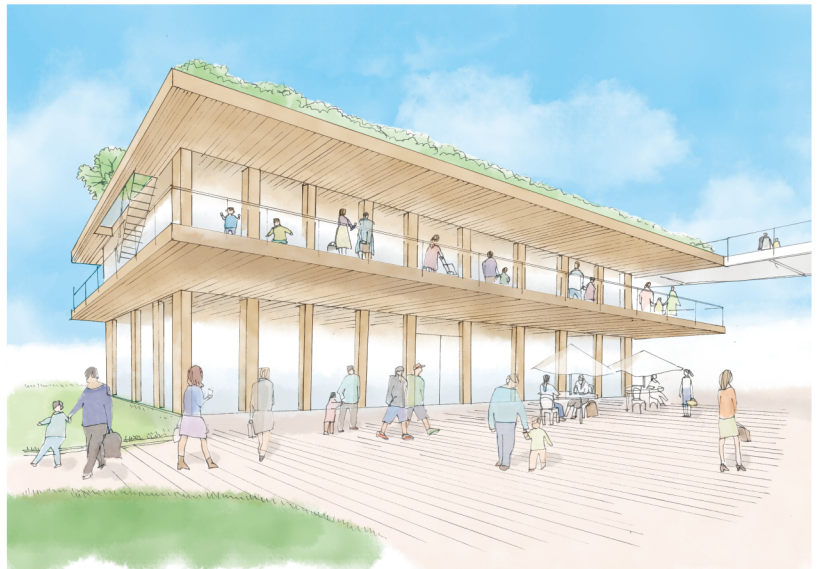
壁面緑化や  
木質構造など  
自然との親和性  
への配慮

雨水利用、太陽光発電  
など資源の有効活用

## 施設イメージ(案) 【全景】



## 施設イメージ(案) 【近景】



# 施設運営および今後のスケジュールは？

## 施設運営について

### 本市にふさわしい管理・運営手法の検討

リリモテラス公益施設の管理・運営については「市民主体」の考え方を基本に、多くの全国事例などを参考にしながら、多様な主体とのつながり・連携を可能にする施設コンセプトに最もふさわしい手法を採択します。

#### 【管理・運営の手法一例】

#### ■市民主体による運営体制

市民団体・公益団体などの参加による運営協議会の設立  
市民レベルでの合意形成、市民自治意識の高揚など、多様な市民団体の参加により  
「私たちのリリモテラス公益施設」という意識を強化



運営協議会の意向を受けて、日常の運営（管理）を行う事務局を設置

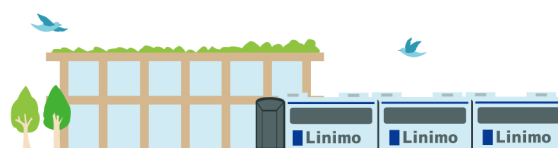
#### ■「つながりのデザイン」を促すアドバイザー

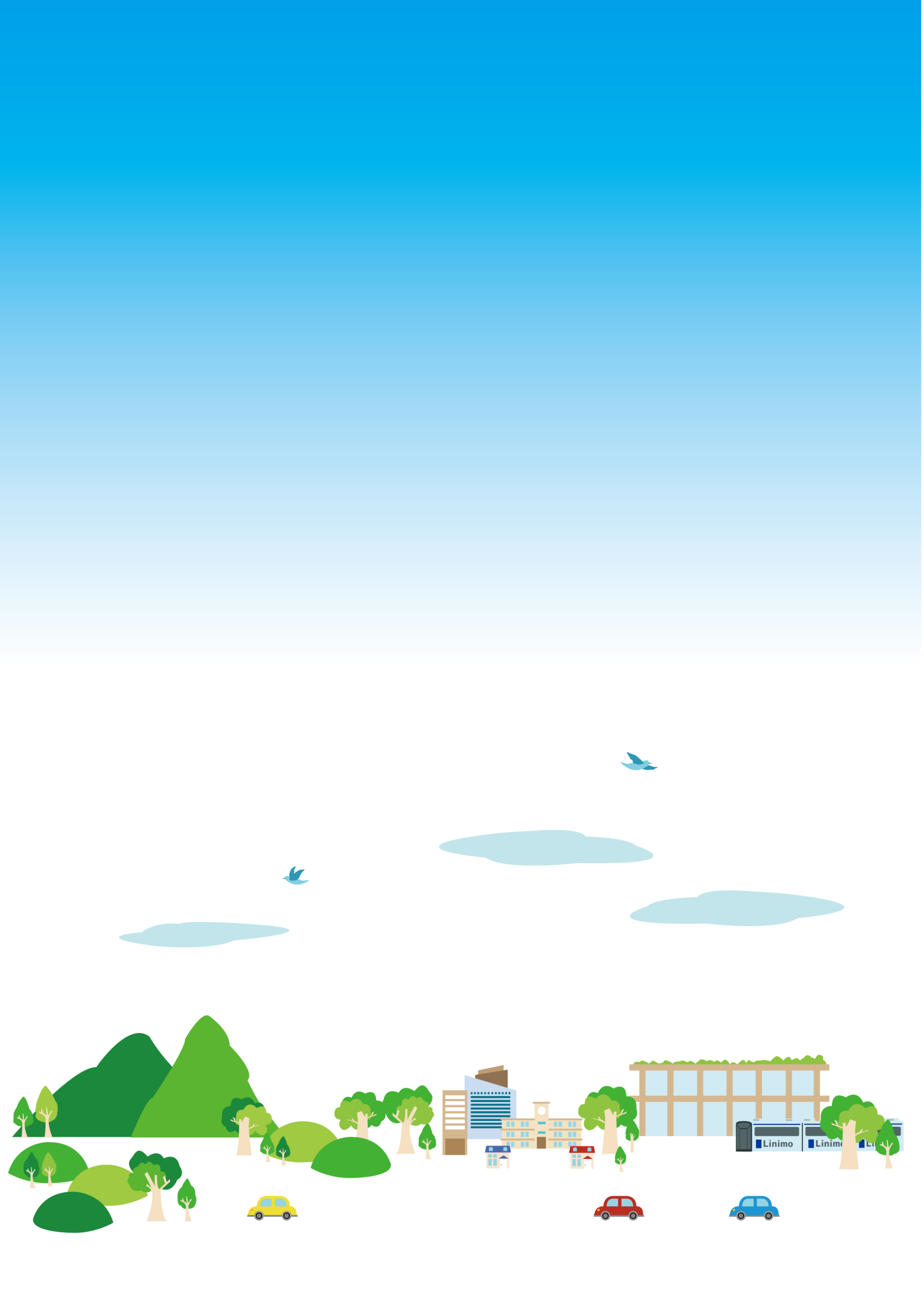
運営委員会の嘱託として、団体同士の連携コーディネーション、事業具体案に対するアドバイス  
施設利用を喚起するファシリテーション、公益施設にふさわしい事業提案など、さまざまな活動主体の  
つながりをデザインする仕掛け人を登用し、リリモテラス公益施設の魅力を強化

## 今後のスケジュールについて

リリモテラス公益施設の整備については、以下のスケジュールで進めていく予定です。

平成 28 年度	基本・実施設計策定 管理・運営手法の検討
平成 29 年度	工事着工 管理・運営準備期間
平成 30 年度	施設オープン





発行 平成 28 年 4 月  
編集 長久手市  
くらし文化部たつせがある課  
〒480-1196  
長久手市岩作城の内 60 番地 1  
TEL 0561-63-1111